

広報

ふんたん

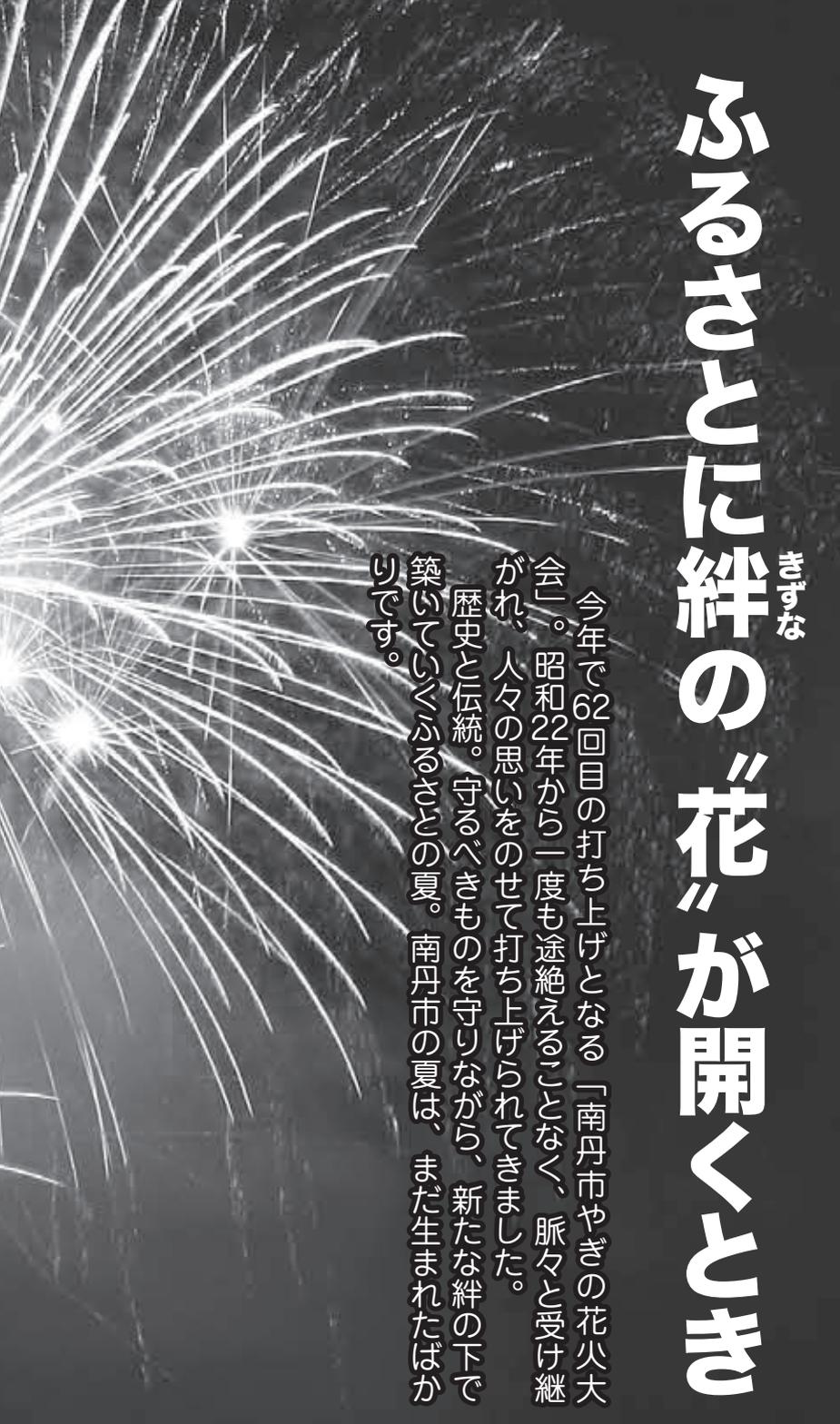


Vol.30

【特集】

きずな
ふるさとに絆の“花”が開くとき

2008年
8・9月号



ふるさとに絆のきずな花はなが開くとき

今年で62回目の打ち上げとなる「南丹市やぎの花火大会」。昭和22年から一度も途絶えることなく、脈々と受け継がれ、人々の思いをのせて打ち上げられてきました。歴史と伝統。守るべきものを守りながら、新たな絆の下で築いていくふるさとの夏。南丹市の夏は、まだ生まれたばかりです。



広報 なんたん もくじ

- ② **特集**
ふるさとに絆きずなの“花”が開くとき
- ⑩ 18会場で市政懇談会を開催
- ⑭ **インフォメーション**
・2011年7月24日までに
テレビのアナログ放送は終了します
・叙勲受章
- ⑯ **行政トピックス**
・CATV式典・映像コンクール表彰 ほか
- ⑱ **いきいき南丹**
・南丹市の健康教室
- ⑲ **ぶらりなんたん**
・農村女性にここグループ
- ⑳ **図書館へようこそ!**
- ㉑ **人権の窓／環・境・市・民**
- ㉒ **みんなのひろば**
・美山山村留学センター夏の体験留学 ほか
盛夏を満喫
・南丹そのべ夏まつり ほか
- ㉔ **なんたんミュージアム**

今月の表紙

8月14日、「南丹市やぎの花火大会」の灯ろう流し。先祖やふるさと、家族を思う淡い明かりが、屋形舟から大堰川へと一つ一つ浮かべられます。花火の前の静かな夕暮れのひととき。



ぽつりぽつりと 大堰川に 灯かりがともる
 にぎわいが どんどん 近づいてきた
 今年もまた 夜空に “花” が開く
 大きくて 力強くて まぶしくて
 「すごい、すごい」と手をたたく人がある
 「今年も見れた」と目を細める人がある
 「無事にあがった」と胸をなでおろす人がある
 空を見上げる人々の顔が
 ぱあっと明るく照らされる ふるさとの 夜



殉難碑

62年。その歩み

戦後間もない昭和22年、戦没者の慰霊と、まちの元氣を取り戻そうと、大堰橋上流の河原で花火が打ち上げられました。以来62年間、毎年打ち上げられています。

昭和28年と35年、台風で大堰川の堤防が決壊し、家屋2階まで浸水する大きな水害に見舞われました。昭和35年8月29日の台風16号被害では、救援に駆け付けた自衛隊員のうち3人が殉職、住民2人の命が失われました。大堰橋西詰には殉難碑が建立され、毎年花火大会に先立って法要が営まれます。

平成7年からは、町民の協賛による花火が「町民の花火」として打ち上げられるようになりました。

そして平成18年、合併により南丹市となったことから、「八木町花火大会」から「南丹市やぎの花火大会」と名称を変更。

陰日なたで花火大会を支え続けてきた人々の努力のたまものにより、京阪神一円に名の知れた花火になりました。大堰川に浮かぶ灯ろうの淡い揺らめきと、夜空一面に描かれる花火、そして川面に映るもう一つの花火に大勢の観衆が魅了されます。

リュック1杯からのスタート

八木で初めて花火が打ち上げられたときの話を、当時から深く携わってこられた川勝一平さん（衣服リサイクル店「川定」店主）にお聞きしました。

八木の花火を第1回から打ち上げてきた「國友銃砲火薬店」の國友家とつちは親戚関係になります。

終戦後、軍隊から帰ってきた私や商店街の若い者で「八木のまちに花火を上げよう」と盛り上がり、私の妹が國友の当時の社長（國友藤一先代社長）に嫁いでいたことから、その弟で花火師の國友藤策氏が来てくれることになりました。

藤策氏は私と同じ年で、当時は24か25歳くらい。たった一人で、リュックサックを背負い、汽車でやって来ました。リュックには3号玉や5号玉を20発ほど、打ち上げ用の筒を担いで、今では考えられないことです。

知らせを聞いて河原には大勢の人が集まっていました。私は筒のそばで耳栓をして藤策氏の助手役。第1発目の花火が火の粉をあげて空に昇り、ドーンと広がった瞬間、河原からは大歓声があが



りました。本当に、周りが一瞬にして明るくなりました。今から思うと懐かしいです。

それ以来、毎年花火が上がるようになり、楽しませてもらっています。

いろんな年がありましたが、良い花火を上げるためには、みんなの心が一つにならなあと感じますね。役員さんには大変な苦勞もありますが、これからも盛大な花火が続いていくことを期待しています。

南丹市商工会を中心に

「南丹市やぎの花火大会」には、毎年7万人を超える来場者が南丹市に訪れます。

主催するのは、南丹市商工会。市内の旧町ごとにあった4つの商工会が、今年4月に合併してひとつになりました。昨年まで共に主催を担ってきた南丹市は、商工会の合併を機に、今年から後援団体

八木の花火の歴史と伝統を受け継いで

平成4年から平成20年3月までの16年間、旧八木町商工会の会長を務められた國府初雄さん（八木町観音寺）。現在、京都府商工会連合会会長を務められています。

八木町商工会の会長を務めるということは、歴代会長が築いてこ

られた花火大会の歴史と伝統を受け継ぐということ。絶大な責任を感じました。特に平成8年は、第50回目、八木町合併45周年という記念すべき年で、「今までにない花火を」という周りの期待も相当大きかったです。あいにく台風の余波で、やむを得ず8月14日から18日に延期になったものの、関係者や多くの人々の心が一つになって盛大に開催できた年でした。

この8月14日という日は、大変

として参画。新たな体制で迎えたい、大きなイベントです。

原油や原材料価格の高騰などによる業況の悪化、新体制での取り組みということで、昨年同様の規模で開催ができるか、商工会関係者に大きな心配がのし掛かりました。しかし、「なんとか続けては

重要で、その日に合わせて里帰りされる方々の期待に応えるために、毎年、少々雨が降っても、可能な限り14日に開催しています。

市が合併して範囲が広くなりましたが、花火への協賛の輪が広がるのはなかなか難しく、また今年には商工会の合併もあり、役員らは歴史と伝統を守り続けるのに大変苦勞をしたようです。

大堰川に映るロケーションに、最後のファイナレは京都府随一とも言われ、本当に見ものです。この花火大会が、皆さんの誇りとなり、いつまでもつながっていくことを願います。



しい」と強く待ち望む住民や、市内外からの声に励まされ、商工会役員が一丸となってスポンサーや協賛の確保に駆け回られました。

そして実現したおよそ7,500発の花火…。きらめく大輪の花の裏側には、並々ならぬ関係者の努力が秘められています。

抜かりなく、備える



大堰橋の下から、セミの声を聞き消すように鳴り響くエンジン音。河川敷には、草刈り機を左右に振る南丹市福祉シルバー人材センター作業員の姿がありました。来る花火大会に向けての、河川敷の整備作業。随時休憩をとりながら、それでも炎天下の厳しい暑さは体にこたえます。「花火の日、ここにぎょうさん人が座らはるさかいに」と、帽子の下から日に焼けた笑顔がのぞきました。

花火大会の数カ月前から、商工会役職員らは準備に奔走。来場者が安全に花火を楽しむことができよう、警察・消防・警備会社などの調整には気が抜けません。

8月13日、花火大会前日。当日に駐車場となるグラウンドなどのライン引きや案内看板の設営が行われました。花火の打ち上げ場所となる大堰川緑地公園では、第1

回目から毎年八木の花火を打ち上げている國友銃砲火薬店が、3号玉から5号玉の花火筒を運び込み、ずらりと並べられました。お盆にあわせて里帰りする家族連れの姿。みんな、花火大会を心待ちにしているのです。

祭り、本番

そして迎えた8月14日。花火大会当日、朝早くから商工会役職員らが、会場の設営に繰り出します。ステージや音響設備が整えられ、ちょうちんが下がると、いよいよ祭りの空気が流れ出しました。

正午。にわかには雲が厚みを増し、雨が降り出しました。朝から仕込みを進めていた花火師たちは、雨が川面にはねるのをじっと見つめ、静かに降り止むのを待ちます。

雨脚が収まると、風の流れを見ながら、花火大会を予告する昼玉が打ち上げられました。

午後になると、駅前通りや商店街に露店が軒を連ね始めます。観覧席では、早くから花火の絶景ポイントを確認しようと、ブルーシートを広げる人も増えてきました。

夕方。町の中では、先祖に御詠歌をあげるかねの音が響きます。

先祖供養や祈願の灯ろうを手に大堰橋西詰の殉難碑横の受付へ向かう人の姿、夕涼みのいすを並べ語り合う人々、浴衣に身を包んでまじりに繰り出す若者、家の前でパーベキューを囲む家族が、和やかなひとときを過ごしていました。

午後5時。殉難碑の前で、戦争や災害で犠牲となった命への慰霊、先祖供養の法要が厳かに営まれました。

午後6時半。それぞれの願いが描かれた灯ろうが、屋形舟に積まれて川中へ運ばれます。一つ一つに明かりがともり、淡い温かさを乗せて、まるで天の川のように、大堰川に光の帯ができました。

そして、オープニングイベント。京都八木よさこい、園部舞組爽龍隊が、勢いのある踊りで景気をつけ、熱気を帯びた会場をますます盛り上げました。



▲開会あいさつをされる武田商工会長

また、親子で環境保護を考え、自分たちのまちの環境を守ろうと活動されているE.C.O.レンジャーの子どもたちが、「ゴミは持ち帰るか、ゴミ箱に捨ててください。僕たちのまちをゴミだらけにしないでください。お願いします」と、来場者に呼びかけました。

開会に際し、南丹市商工会武田晏和会長があいさつをされました。「この4月に商工会が合併をしました。初代会長として、重大な責務を感じるとともに、花火大会の開催にあたり、成功できるか心配な部分もありました。しかし、地元の方々のご協力、スポンサーの方々のご支援を賜り、盛大に開催できる運びとなりました。多くの皆さんに会場いただき、うれしく思います。最後までゆつくりと南丹市やぎの花火大会をご堪能ください」

午後8時。いよいよ、みんなの期待、会場の緊張が最高潮に達しました。

そして、花、開く

武田商工会長、佐々木市長、そして地元出身の中川泰宏衆議院議員による点火で、ステージ横から大堰川の上を火花が勢いよく走り抜け、対岸に「ようこそ南丹八木へ」の文字が浮かび上がりました。間髪入れずに打ちあがったスターマインに、会場はどよめき、そして大きな拍手が沸きました。

早打ち3号玉、4号玉、5号玉、仕掛け花火にスターマイン。目くるめく輝きと色彩、音、趣向を凝らした芸術に、魅せられる観客。およそ7、500発の1花1花が夜空を明るく照らし、南丹市やぎの花火大会への思いが咲いていきます。

市民の「少しずつ」が寄り集まったスターマイン。南丹市民の花火。広がり始めたふるさとを愛する「少しずつ」が、もっと大きく、大きく膨らみ、次の花火大会へとつながっていきますように。自分たちの花火を見たいという思いが、花になりました。

いよいよ、最高潮の、大銀滝

花火師に聞く！花火の「こ」

南丹市八木町神吉に、国内の間では最大の一級火薬庫を保有する國友銃砲火薬店（國友繁明代表取締役社長、本社京都市下京区）。

八木の花火大会をはじめ、全国各地の花火大会で打ち上げを請け負われています。

花火師 上埜 昌紀さんに、

花火の「こ」を聞きました。



Q 花火って上や横から見たらどんな形？

A 「菊」など割物花火は360度どこから見てもまん丸です。ハート型などの型物花火は角度によって見え方が違います。

Q どうやって色を出すの？

A 花火の玉の中には、「星」という丸い小さな火薬の玉がたくさん詰まっています。この星の火薬の種類で、色合いや長さなどを調整します。星の並べ方がそのまま空で開く形になります。

Q どうやって打ち上げるの？

A 國友では、コンピュータ打ち

上げシステムで打ち上げ順や時間を細かくプログラムします。そして、遠隔操作で電気点火して打ち上げています。



▲パソコンで遠隔操作

Q 花火の大きさはどのくらい？

A 國友の倉庫には、ピンポン玉サイズの1・5号玉から、約80kgの重さの20号玉（2尺玉）があります。八木の花火大会でも扱う5号玉（直径約15センチ）は上空で直径約170メートルも広がります。

Q 花火師ってどんな仕事？

A 打ち上げ準備から後片付けまで大変な重労働。南丹市在住の花火師もいれば、女性の花火師も数人います。夏のシーズンには連日、花火会場から会場へと飛び回っています。一つ間違えれば大きな事故につながるので慎重さは必要ですが、基本的にみんな花火が大好きで楽しんでやっています。



祭りの後の…。

から大スターマイン。襲い掛かるようにはじける無数の花火が、爆音とともに空を真っ白に塗り替え、花火の感動のフィナーレを飾りました。

大堰橋の上。祭りを堪能し、家路に向かう楽しげな声。その足元に残されたごみを、交通規制解除までに一斉に清掃される商工会役員。商店街でも、自分たちの住む家や店の前に置き捨てられたごみを掃き集める、怒りとも悲しみともいえる地元の方々の背中…。

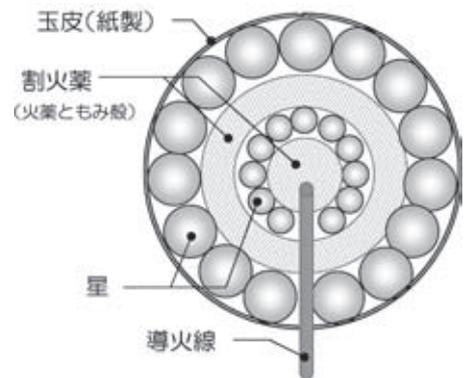


▲花火大会翌日のEcoレンジャーによる清掃

れ物〃をたくさん拾いました。ピールの空き缶、たばこの吸い殻、スナック菓子の袋、新聞紙、割りばし、紙コップ、ナイロン袋に詰められたごみ、ごみ、ごみ…。

汗を流しながら、軍手をはめ、使い慣れない火ばしでごみを拾い集める子どもたちの姿に、Ecoレンジャー代表の森佳子さんは、「子どもたちの呼びかけもあり、昨年に比べて心ばかり減ったようには思います。子どもたちに身近な環境問題を考えてもらいたいながら、いい環境を残していきたいと始めたごみ拾いですが、実際、大人たちが捨てたたばこの吸い殻やビールの空き缶などを拾わせることに、戸惑いと悲しさを感じています。一人一人が環境に関心を持って、少しずつでも改善していければと思います」と、少し顔を曇らせて話されていました。

<花火の玉の断面図>



花火に〃とりつかれて〃、真っ黒に日焼けした花火師たち。はつらつと作業をされるその姿に、汗と誇りが輝いていました。



▲日吉町在住の花火師 小林敏雄さん

共に作り上げるイベント

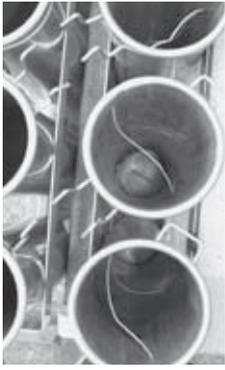
南丹市商工会副会長であり、園部支部長の片山誠治さんに話を伺いました。



夏の風物詩として、花火に勝るものはありません。今年、園部の花火をやむを得ず中止としたことで「なぜ」という声をたくさんお聞きしました。そして、「来年こそ部の花火は、もともと町の商店が

一年に一度、日ごろの感謝を地域の方々に還元しようと思った催しです。何とか続けていきたいと策を練りましたが、開催に至る条件がそろわず、苦渋の選択を余儀なくされたのが現実です。

今、イベントの在り方が問われています。熱い思いを持って引張る人材も必要ですし、盛り上げていく雰囲気づくり、そして行政の協力もやはり必要です。同じことに取り組み、共に作りあげていく中でこそ、絆が生まれます。その結果、住んでみたい、住み続けたいまちになっていくでしょう。市民の皆さんからも、自分たちのまちを元氣付ける力とアイデアを出していただき、共に盛り上げていきたいと思います。



たくみ 匠

の技を見せる

花火師の舞台が着々と整えられていく。今回、初めて昼玉を打ち上げた女花火師の下野瑠美さん(写真右下)。

指導を受けながら、少し緊張気味に点火。耳をつんざく爆音とともに、祭りの訪れを告げる昼玉が上空に打ち上がる。



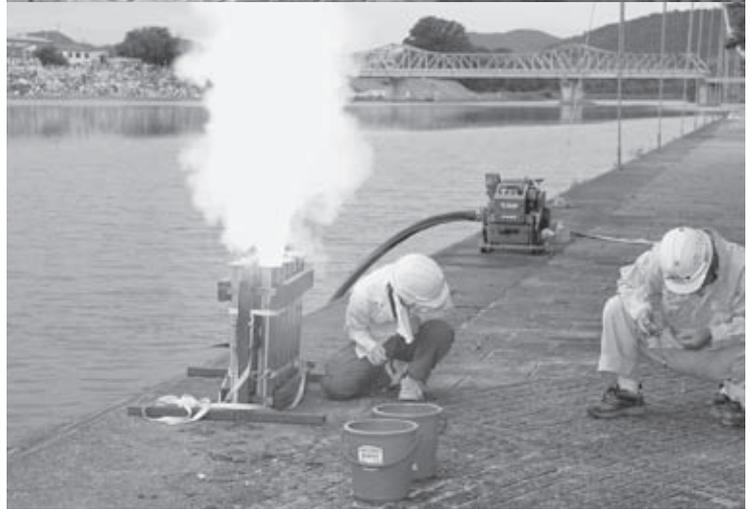
女花火師 下野瑠美さん
(手元の花火玉は5号玉)



封

火を じる

火の粉が落ちてくる打ち上げ現場周辺に、前もって水を打つ市消防団八木支団(写真上)。花火の燃えかすの消火や万一の事態に備えて待機する。



「ふるさと」の夏祭り」を創る

南丹市が合併して2年9カ月。園部、八木、日吉、美山、それぞれの先人によって築かれた歴史と伝統を重んじながら、地域に合った良さを未来へとつなげていこうとしています。

華やかな表舞台と、それを支える裏舞台、両方あってこそ一つの素晴らしい舞台が出来上がります。

南丹市やぎの花火大会には、62年分の人々の思いが込められ、年を重ねるごとに、厚みと重みを増しています。

今年、園部では、夜の花火大会を行わず、昼間のパレードと映画上映、そして新たな試みとしてジャズコンサートが行われました。市商工会では、「夏まつり」の内容について、幾度となく協議が重ねられました。その結果、人的・予算的にも断念された園部の花火大会を惜しむ声も多く聞かれます。

続けていくことの難しさ、新たに創り出すことの難しさ。未来へと託された南丹市の夏は、市民の皆さん一人一人の思いが集まって一つの形になっていきます。

「ふるさと」の夏祭り」。それは、あなたにとって、どんな存在でしょうか？そして、子どもたち



「僕たちのまちを
ごみだらけにしないで
ください」

ECOレンジャー

市商工会



にとって、幼い心にこれからどんな思い出として刻まれていくのでしょうか？

南丹市の夏は、まだ生まれればかりです。伝統が受け継がれ、四季折々のイベントで育っていく南丹市の個性。歩き出した今、「誰かが」ではなく、わたしたち一人一人がその歩みをしっかりと支えていくことが必要です。「わがまち」に対して思いを持ち、住み続けたいと思えるまちづくりを形にしていきましょう。

4つの町がそれぞれの良さを守りつつ、しっかりと手をつないだとき、新たな絆の“花”が開きます。

18会場で市政懇談会を開催

—まちづくりの市民の声を—

南丹市のまちづくりの方針を市民の皆さんにお伝えし、市政にご理解をいただくとともに、市民参加のまちづくりを推進するため、7月23日から8月26日にかけて18会場へ市長がお伺いし「市政懇談会」を開催しました。今号では、懇談会で説明した市政の現状についてお伝えし、次号で意見交換の内容を紹介します。

(参加者 761人)

市政懇談会の進行は、南丹市の紹介ビデオ「南丹市の宝もの（森・里・街がきらめくふるさと）」を上映した後、市長が南丹市総合振興計画と行財政改革の推進についてスライドを使って説明し、その後、市政について参加者と意見交換を行いました。

南丹市総合振興計画について

新しい市のまちづくりの指針として、平成19年度に市総合振興計画を策定しました。この計画は、



▲平成20年5月に全戸配布した市総合振興計画【概要版】

南丹市を今後どのようなまちにしていくのか、将来像を掲げ、その将来像を達成するため、行政が行うこと、市民が行うこと、市民と行政が力を合わせて取り組むことなどの方向性を示し、時代の変化に対応して、魅力と活力にあふれたまちづくりに取り組むための指針とするものです。

計画の構成は、10年後の南丹市を展望し、将来像を示す『基本構想』、施策の方針を定め、前期・後期5年ずつを見据える『基本計画』、これらを達成するため、具体的に挙げる事業の推進内容を示す『実施計画』で構成しています。

(図1)

実施計画では、本年度から22年度までの3カ年を事業期間としています。実施計画に掲げた事業は

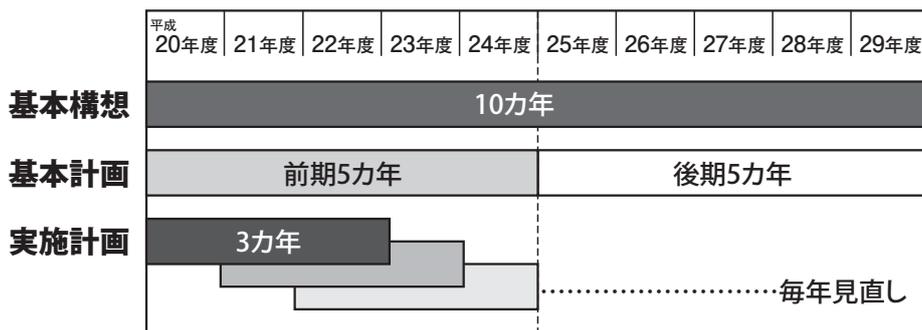
203事業で、一つ一つの事業について現状の課題から、どのように取り組むのか、目的や効果はどのようなことなのか、さらに、年度ごとに行う事業の概要や事業費などを示しています。

実施計画は、3カ年計画ですが、社会情勢の変化や動向に対応し、現実には合ったものとしていくため、毎年見直しを行い、改定していくこととしています。

そして、実施計画を着実に実行し、目指すまちの将来像を実現するためには、将来にわたる財政を見直し、行財政改革の視点をもって進めていくことが大変重要となってきます。

そのため、毎年の見直しにあたっては、実施事業に対するさまざまな角度からの評価を行うとともに

■計画と構成の期間 (図1)



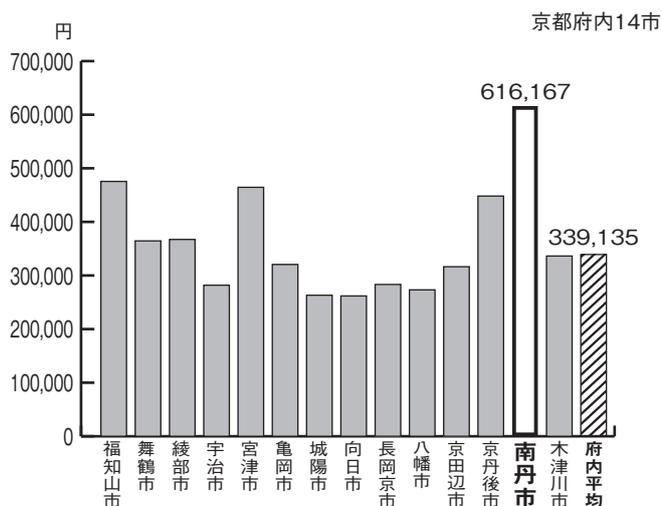
に、刻々と変化する経済情勢や財政事情に即した予算化への検討が必要となります。

財政について

平成18年1月に南丹市が誕生しましたが、合併の本来の目的は行財政改革であり、行政の効率化や財政基盤の拡大によって、旧町で

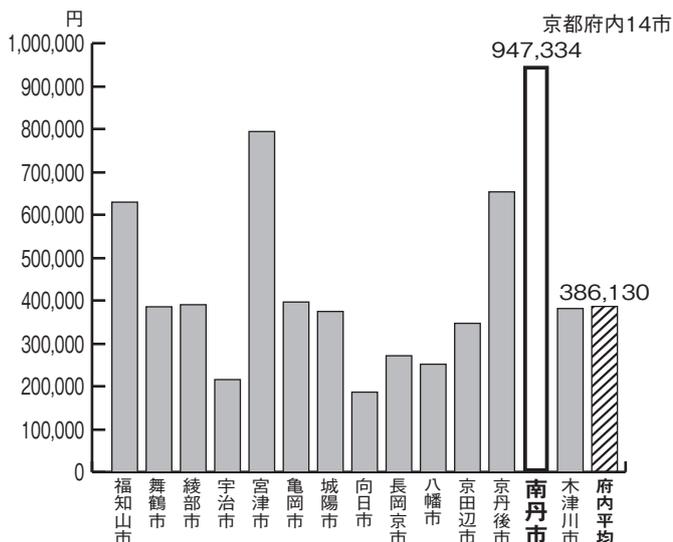
■ 当初予算額 (市民1人当たり)

私たち1人当たりの予算額は616,167円 (図2)



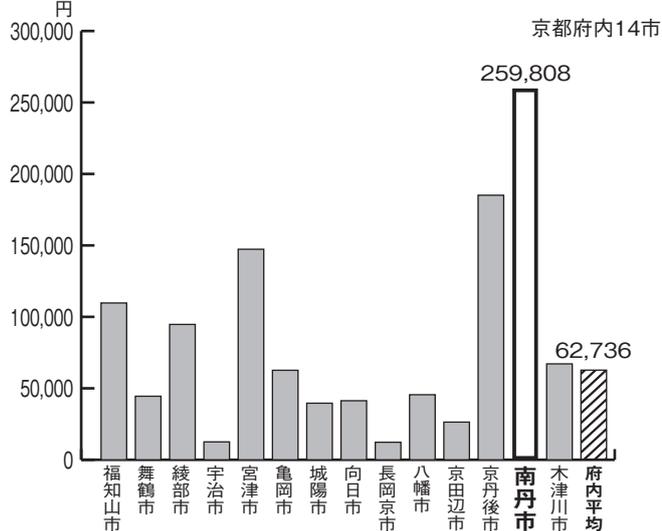
■ 市債残高 (見込) (市民1人当たり)

私たち1人当たりの借入額は947,334円 (図3)



■ 地方交付税 (市民1人当たり)

行政需要の多さと合併による増額交付 (図4)



*市民1人当たりの金額は、総予算額÷人口で計算しています。

はできなかつた事業も可能となる
ことが最大のメリットです。
さまざまな課題を抱えながら
も、一つの自治体として統一的な
発展のため、南丹市が一丸となつ
て問題の解決を図り、持続可能な
強固な財政基盤を築いていくこと
が必要です。
旧町では、それぞれ特徴的な施
策を実施し、そのほとんどが南丹
市へと引き継がれています。それ
に伴い財政負担が大きくなつてい
るのも事実です。

一般会計当初予算を基に、京都府内
の14市(京都市を除く)と比較し
て、南丹市の財政がどのような状
況にあるのかを説明します。
○当初予算額(図2)
平成20年度当初予算額を比較す
ると、府内14市の平均が市民一人
当たり33万9千円なのに対し、南
丹市は61万6千円となっており、
厳しい支出削減に取り組んでも約
1・8倍となっています。

千円と約2・5倍になっています。
道路や建物などの建設事業につ
いては多額の経費が必要なことか
ら、多くの場合は借入金を財源と
して、それぞれの旧町で積極的な
事業を行い、生活環境も大きく改
善してきました。しかし、借入金
である市債残高の一人当たりの額
も14市の中では飛びぬけて多い状
況です。

返済が必要であり、結果的に将来に
負担を先送りすることになります。
これから大人になって将来の南
丹市を担う子どもたちのために
も、あまり多くの負担を残すこと
は望ましいことではありません。
借入金もできるだけ抑えていかな
ければなりません。

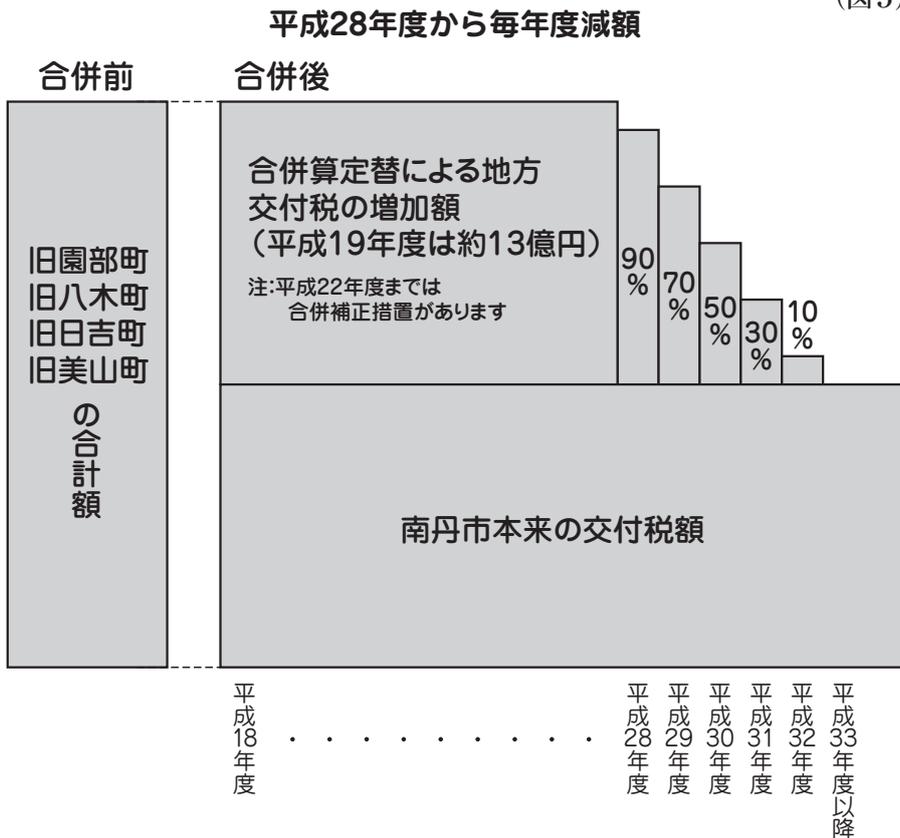
○市債残高見込(図3)
平成20年度末の市債残高(借入
金)は、府内14市の平均が38万6
千円なのに対し、南丹市は94万7

借入金についてはできるだけ有
利なものを選択しており、元金と
利子の返済については約6割が地
方交付税によって措置されます。
しかし、借入金は長年にわたって

○地方交付税(図4)
地方交付税は、府内14市の平均
が6万3千円なのに対し、南丹市
は26万円と突出しています。この
ことは、いかに財源が不足し、地
方交付税に大きく依存しているか
を如実に表しています。

■ 合併後の普通交付税の推移 (年度によって変動があります)

(図5)



○ 普通交付税の推移 (図5)

普通交付税は、合併後10年間は合併の特例措置により、ある程度の交付税収入は保証されています。しかし、合併後11年目からは段階的に減額され、16年目からは特例措置がなくなり本来の南丹市の交付額となります。

現在は、本来の南丹市の普通交

付税の額に13億円余りが、特例措置により上乘せされている状況です。この優遇措置がある間に財政を健全で、強固なものにしていくことが重要です。

財政運営の基本である「収入に見合った支出」にするためには、徹底した「行政改革実施プラン」などに基づいた支出経費の削減や

■ 行財政改革の取り組み

行財政改革でまちづくりの基盤づくり

■ 改革の目的

- ◆時代に即した行政需要に対する的確な対応
- ◆市民サービスの向上
- ◆行政運営の適正化・効率化

～単なる削減・縮小のみが目的ではない～

■ 南丹市が行財政改革で目指すもの

「次代を切り拓く」行財政運営

見直すべきは見直し、改めるべきは改め、伸ばすべきは伸ばす「選択と集中」

「市民と共に築く」市政運営

誇りと絆を大切に市民と行政が手を携えた市政運営の確立

(平成18年12月策定 南丹市行政改革大綱より)

行財政改革の取り組み

収入の確保が必要です。また、一方では限られた財源の中で市民ニーズに即した行政サービスの維持も求められている難しい状況です。

このような厳しい状況の中でも、市民の皆さんの満足度を高められるまちづくりを進めるためには、行財政全般にわたる改革を行

うことが必要です。

「行財政改革」と言うと、削減や縮小というイメージがあるかも知れませんが、決してそれが目的ではありません。

行政改革の目的は、「時代に即した行政需要に対して的確に対応すること」「市民サービスをより一層向上させること」「行政運営の適正化、効率化を図ること」です。簡単に言うと、国・府・市町



▲市政の現状を説明する佐々木市長

村といった行政の仕組みや、そこで処理している事務、また実施している事業、さらにはそれらの進め方などについて、今までのものを見直し、そしてより良いものに変えていく取り組みの事です。

昨年3月には、行政改革大綱に基づく行財政改革を、具現化するための施策やその実施目標年度を定めた「南丹市行政改革推進計画」を策定し、できるところ、しなければならぬところから順次進めています。

また、昨年6月、「南丹市行政改革実施プラン（第一次）」を策定し、喫緊に取り組まなければならない課題として、合併に伴い全市に拡大した事業の抜本的な見直し、地域の振興、雇用の確保、税収増を図るための企業誘致の推進、合併で生じた不均一の解消など18項目を掲げ、できることから取り組んできました。

事業制度の思い切った見直しを行う中で、予算編成手法についても変更するなどして、本年度当初予算は平成19年度に比べ、約15億円の前減が可能となりました。

また、市民の皆さんの利便性の向上を図るため、昨年6月から郵便局で住民票の発行ができるように取り組んできました。

今年度は、障がいのある子どもたちのための発達支援センターの改修や小学校などの耐震化に向けて取り組みなど、施策のメリハリをつけ、積極的に実施することとされています。



▲市長に意見を伝える参加者（八木東部文化センター会場）

市民と共に

「収入に見合った支出」にするためには、今後も市民の皆さんのニーズに合う効率的で効果的な市政

運営が必要です。皆さんが何を望み、何を期待しているのかを的確に捉え、市政に反映させる仕組みを確立するため、市民の皆さんや学識経験者の方々に事業を評価していただく仕組みづくりに取り組んでいます。

そのためには、市が持っている情報を皆さんに知っていただくことが大切です。広報紙やホームページ、CATVなどの広報はもちろん、職員が地域に出向き、市の事業や施策などについて説明する「南丹市地域づくり出前講座」を今年5月からスタートしました。

また、7月1日付けで一部行政組織を変更し、「総合政策課」を新設しました。総合政策課は、行財政改革の推進にとどまらず、重要な政策の企画立案部門と位置付けています。今後は、市の政策を立案する過程を透明化するとともに、情報公開を徹底するなどして、市民協働を進めたいと考えています。

市では、これからも市民の声をまちづくりに生かす取り組みを進めます。

次号の「広報なんたん」で市政懇談会でのご意見やご質問について紹介します。

2011年（平成23年）7月24日までに テレビのアナログ放送は終了します

情報整備
シリーズ
-7-



地上デジタル放送（通称・地デジ）と、今まで放送しているテレビ放送（アナログ放送）は、現在、並行して放送していますが、アナログ放送が終了するまでに、地デジへの対応をする必要があります。

南丹市CATV（表1） 地デジ放送チャンネル

1ch	NHK総合
2ch	NHK教育
4ch	毎日放送
6ch	朝日放送
8ch	関西テレビ
10ch	読売テレビ
11ch	自主放送

※今年度内にKBS京都のデジタル化も予定しています。

CATV加入者の場合
南丹市CATVの加入者であれば、次の地デジ放送が受信できます。（表1）

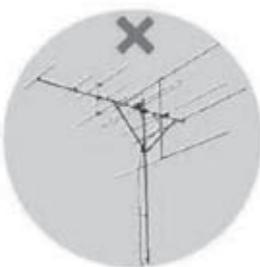
南丹市で地デジ放送をご覧になるには、南丹市のケーブルテレビ（CATV）に加入いただく方法と、一部の地域の方に限り、自宅のアンテナで受信される方法があります。

南丹市で地デジ放送を見るには

現在、日本で放送や通信に使われている電波は、これ以上すぎ間がないほど過密に使われています。これをデジタル化することで、周波数に余裕ができ、多様なサービスが可能となります。
アナログ放送が終了すると、地デジ放送に対応していないテレビでは放送を視聴できなくなります。ご家庭の放送設備環境に合わせた対応が必要です。

自宅のアンテナで受信される場合
一部の地域では、現在自宅のアンテナ（UHF）（図1）でテレビが視聴可能であれば、通常はそのまま地デジ放送が受信可能です。
※ただし、VHFアンテナ（図2）では、地デジ放送は受信できません。
次に、ご自宅のテレビで視聴するために、地デジ対応のテレビを用意する必要があります。

（図2）VHF ×



（図1）UHF ○



クイズやアンケートなどの
双方向サービスが可能になります！



ネットをつないだ
双方向サービスで、
視聴者参加型の番組が
楽しめます。



ハイビジョンの高画質と
高音質が楽しめます！

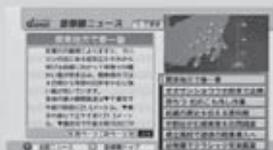


16:9のワイド画面、ハイビジョン
の高画質、CDなみの高音質で
まるでその場にいるかのような
臨場感と迫力を楽しめます。



【地デジ放送の主な特徴機能】

いつでも、ニュースや天気予報
などの情報が見られます！



データ放送により、リモコンの
ボタンを押すだけでいつでも
最新のニュースや天気予報、
そのほかの暮らしに役立つ
情報などを見ることができます。



電子番組ガイド(EPG)で、
録画予約も簡単に行えます！



番組表がテレビ画面上で見られ、
当日から1週間先までの
番組情報が検索できます。
また、放送時刻の変更があ
っても視聴予約や録画
予約にすぐ対応します。



南丹市で地上デジタル放送を視聴するための流れ

※このフローチャートはあくまで目安です。詳しくは、下記の相談センターか、地元の電気店などでお問い合わせください。

現在のテレビ受信方法は？

- ① 南丹市CATV ② 自宅のアンテナ

①

自宅のテレビは地デジに対応していますか？

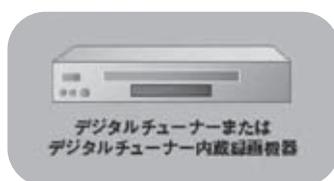
- ① 地デジ対応のテレビを持っている。
 ② 地デジ対応のテレビを持っていないが、手軽に地デジを見たい。
 ③ 地デジ対応のテレビを持っていないが、しばらくは現在のアナログ放送でいい。

①

高画質・高音質で地デジ放送が視聴可能です。



②



デジタルチューナーなどを今のテレビに接続すれば、地デジ放送が視聴可能です。※画質は今のアナログテレビのままです。

③

アナログ放送終了までは、今のテレビでも視聴可能です。それ以降は対応テレビに買い換えるか、デジタルチューナーなどを今のテレビに接続すれば視聴可能です。

自宅のアンテナの種類は？

- ① UHF
 ② VHF

②

VHFでは地デジを受信できませんので、南丹市CATVに加入するかUHFアンテナを設置してください。

地デジ対応テレビで見ると

地デジ対応テレビであれば高画質・高音質で視聴でき、さまざまなデジタル機能がお楽しみいただけます。

対応テレビを購入される際には『地デジ対応テレビロゴマーク』(図3)を参考にしてください。

(図3)
 地デジ対応
 テレビ
 ロゴマーク



デジタルチューナーで見ると

アナログ放送終了の2011年7月24日以降でも、今までのアナログテレビにデジタルチューナーなどの機器を用意すれば、地デジ放送が視聴できます。ただし、画質は今のアナログテレビのままです。

地デジ放送に便乗した

「悪徳商法」にご注意を！

「デジタル放送接続料」や「デジタル化調査料」と称して多額の費用を架空請求する事件が全国で発生しています。もし、不審な請求や調査、訪問などがあれば、最寄りの警察署か放送受信相談センターへお問い合わせください。

地デジ放送に関するお問い合わせ

地上デジタルテレビジョン

放送受信相談センター

TEL 0570-0710101

CATVに関するお問い合わせ

南丹市情報センター

TEL 0771-6311777

旭日単光章

「地域の発展と教育環境の充実に寄与」

故・平井末雄さん(日吉町)

故・平井末雄さんは、昭和51年10月から6年半の間、日吉町の教育委員として、卓越した指導力で住民の生涯学習を推進し、社会教育団体の育成強化と、教育環境の充実に発展に尽力されました。

昭和58年4月からの3期12年にわたっては、日吉町議会議員として、その豊富な見識と指導力で住民の先頭に立ち、地域住民の意見を行政に反映させ、地域の発展に寄与されました。ご冥福をお祈りします。

行政 トピックス

市全域でCATV整備完了 地域情報化の発展を祝う

― 式典・映像コンクール表彰 ―

今年4月から市全域でケーブルテレビ・インターネットサービスが始まり、7月から自主放送のデジタル化を開始しました。これを記念し、7月12日に「南丹市地域情報通信ネットワーク施設完成・ケーブルテレビ全市デジタル化開



▲市勢要覧ビデオ版の上映



局記念式典」を関係者出席の下、市国際交流会館で開催しました。

開会に先立ち、市勢要覧ビデオ版『南丹市の宝もの森・里・街がきらめくふるさと』を上映。事業経過報告の後、情報通信基盤整備事業に貢献された10企業に感謝状を贈呈しました。



▲表彰を受ける塩見風我くん(左)

また、開局記念事業として実施した「第一回南丹市民映像コンクール」の入選者の表彰を行いました。南丹市長賞に、音楽鑑賞会の様子を撮影された南丹市立川辺小学校PTAが入選、財団法人南丹市国際学園都市センター理事長賞に、自分たちが毎日通う通学路を兄弟でユーモアたっぷりに紹介する塩見那月くん・風我くんが入選。審査委員長の『ケーブル新時代』編集長上田千秋氏からは、作品の完成度の高さが評価され、撮影の際のアドバイスを交えた講評がありました。式典の様子は、なんとたんテレビで生放送しました。

厳しい訓練を積み重ね、 放水の速さと正確さを競う

― 市・府消防操法大会 ―

消防技能の向上と士気の高揚を図るため、7月6日に南丹市消防団操法大会を園部公園多目的運動場で実施。支団ごとに選出したチームが消防訓練における基本操作の速さと正確さを競いました。小型ポンプ操法は9チーム中、美山支団第一班が、ポンプ車操法は3チーム中、美山支団が優勝。南丹市長の激励を受け、7月27日の京都府消防操法大会に代表出場しました。惜しくも入賞には至りませんでした。両チームとも健闘しました。



▲規律ある動きで操作(ポンプ車操法・美山支団/市大会)

「京の夏 ゆとりと笑顔で 事故はなし」を目指して

― 夏の交通事故防止府民運動 ―

夏休みやお盆の帰省などで交通量の増加が見込まれる7月21日から8月20日の期間、京都府内各地で交通事故防止の徹底を図る府民運動が実施されました。

南丹市では、7月22日に市役所でスタート式を行い、南丹船井交通安全協会南丹支部や南丹警察署などから約40人が参加。広報車やパトカーで市内を巡回し、子どもや高齢者の交通事故防止、全座席のシートベルト着用などを重点的に呼びかけました。



▲パトカーがずらりと整列したスタート式

適正な入札の見張り番 使命感を持って審査行う

―南丹市入札監視委員会―

6月27日、市役所で南丹市入札監視委員会（松村雅司委員長・京都学園大学教授）が行われました。同委員会は、公共工事の入札・契約の執行における透明性を図るため、学識経験者や市議会議員ら5人で構成。年2回（6月、11月）、市が行った公共工事などの入札が、適正に執行されているか審査が行われます。市担当者から入札・契約の近況説明を行った後、委員が抽出した案件10件について審議が行われました。



▲「使命感を持って審査にあたる」とあいさつされる松村委員長



▲ふるさとの環境を守る施設の完成を祝い、通水する関係者ら

美山川の清流をいつまでも 生活排水の処理施設が完成

―農業集落排水事業
宮島・大野地区竣工式―

農業集落排水事業宮島・大野地区の竣工を祝い、6月30日に弓立浄化センターで通水式などを行いました。

下水管路、処理場など地区全体の総事業費は6億3、800万円。処理計画人口は390人で宮島・大野地域の生活排水を処理します。これで美山地域で計画した6処理区すべてが完成し、市全域で下水道処理区は24カ所、浄化槽を含む整備率は96%になりました。

安心でおいしい茶をどうぞ 良質な茶の生産に取り組む

―第59回両丹茶品評会褒賞授与式―

両丹地区で生産された茶の品評会として毎年開催される両丹お茶まつり。今年は南丹市が開催地で、7月30日に市国際交流会館で品評会褒賞授与式を行いました。

南丹市からは3人が煎茶の部に出品、美山茶業組合の組合長を務める小寺久和さんが会長賞の3等賞に入賞されました。小寺さんは、美山で茶業が始められた当初から約50年間携わってこられ、今後は質の高い玉露の生産にも取り組みたいと語っていただきました。



▲今回会長を務めた佐々木市長（左）と入賞された小寺さん（右）



▲調印した5者（前列）と地元区長ら関係者（後列）

企業が参画、森を元気に みんなで守り、育てよう

―「森林の利用保全に
関する協定」調印式―

京都の森を守り育てる「京都モデルフォレスト運動」に、総合分析機器メーカーの株式会社島津製作所（京都市中京区）が参画されるにあたり、8月4日、平安会館で京都府、南丹市、八木町観光協会、社団法人京都モデルフォレスト協会との調印式が行われました。

株式会社島津製作所は、八木町玉ノ井大鳥羽に約52畝の「島津製作所の森」づくりに取り組み、広葉樹などの植樹や手入れ、環境学習などが行われる予定です。

いきいき南丹

-27-

お元気ですか？
保健師です。



南丹市の健康教室

メタボ脱出！一緒に改善方法考えましょう

平成20年度の市民健診は、5～6月に集団、5～7月に個別（医療機関）を実施しました。

本年度は、法改正でメタボ予防健診（30歳代）、特定健診（40～74歳の南丹市国保加入者）、すこやか健診（75歳以上）と各種がん検診、生活機能評価の内容で行いました。集団健診後は、地区公民館などで結果報告会を開催しました。

さて、今年の健診の特徴は、「メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満）」に着目した健診です。腹囲（男性85センチ以上、女性90センチ以上）に、血圧、脂質・血糖などの血液検査の結果、喫煙状態などによって、3つの階層「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」に分けて結果を出しています。

それぞれの階層の方を対象に、メタボリックの状態に応じて、ご本人と医師・保健師・管理栄養士

とともにじっくりと日常生活の改善点を見つけ出していく教室や、集団でスタッフや参加者とともに話し合いながら、日常生活の見直しをしていく教室を紹介します。



「個別健康教育」

「積極的支援」と言われた方にお勧めしています。

ご本人の都合に合わせて面談の日程を決め、じっくりと話し合っ

また、電話などで様子をお伺いし、日ごろの頑張りの支援もしていきます。半年後には、ご本人の取り組みや頑張りの成果を一緒に確認させていただきます。

「楽しくやせて脱メタボ」教室

「動機づけ支援」と言われた方にお勧めしています。

参加者みんなで知恵を出し合っ

市内4会場、美山保健センター、

参加者には、半年後に努力の成

「身体リセット教室」

「情報提供」と言われた方をはじめ、メタボ予防健診受診者でご案内した方、検査結果が気になった方、健康づくりに関心のある方に

お勧めしています。生涯を元気で楽しく過ごすためには、健康は欠かせません。生活習慣を振り返って自分に合った実践方法を見つけてください。

「健康プール教室」

「運動したいけど機会がない」「一人ではなかなかできない」と日ごろ感じておられる方にお勧めしています。スプリングスひよしの温水プールで、インストラクターの指導により水中ウォーキング・アクアビクスなどを実践していただきます。

「そのほかの健康教室」

65歳以上の方で介護予防のサービスを案内した方、興味をお持ちの方には、「元気はつらつ教室」や「筋トレ教室」をお勧めしています。介護を必要としない元気な体づくりをしましょう。

市民の皆さんに気軽に参加していただけるように、教室の選択肢をたくさん用意しています。皆さんのお役に立つ教室であると、自信を持ってお勧めできます。メタボ脱出や運動不足、健康づくりのために、ぜひご参加ください。



八木の特産「みず菜」を使った料理広めよう
～農村女性にこにこグループ～



「みず菜蒸しケーキ」

【材料】(8cmのアルミケース 20 個分)
上新粉 (250g)、卵 (5 個)
ベーキングパウダー (大さじ 1)
ショートニング (100g)、三温糖 (200g)
みず菜 (葉先・50g)、牛乳 (120cc)
※トッピングに松の実や干しぶどう

【作り方】

- ① みず菜をゆでてから、牛乳と合わせてミキサーにかける。
 - ② 室温にもどした卵をボウルに割りほぐし、三温糖を加え、泡立て器で表面に細かい泡が立ち、白っぽくなるまでよく混ぜる。
 - ③ ②に湯せんで溶かしたショートニングを加えて混ぜる。
 - ④ ①を少しずつ加えながら、全体になじむまで混ぜ合わせる。
 - ⑤ 合わせてふるっておいた上新粉とベーキングパウダーを④に加えて、手早く混ぜる。
 - ⑥ 生地がなめらかになったら、アルミケースに八分目まで流し入れ、蒸気の上上がった蒸し器に並べる。(水滴が落ちないようにふたをふきんで包む)
 - ⑦ 強火で約 20 分蒸して、中まで火を通す。
 - ⑧ 竹串を中央に刺して、生地が付かなければできあがり。
- ※トッピングをのせる場合は、5 分程度蒸してからのせる。

農村女性にこにこグループ
代表 竹上 貞美
TEL : (0771) 42-3545

「ふるさと八木っ子まん」。ほくほくに蒸した京野菜入りの豚まんです。八木の特産であるみず菜、九条ねぎ、玉ねぎなどを具材に、山の芋を皮のつなぎに使って作られます。もちもちとした皮に、しゃきしゃきとしたみず菜の食感がたまりません。

八木っ子まんを作るのは「農村女性にこにこグループ」。八木町特産の野菜を使って新しい加工品開発ができないかと、試行錯誤を繰り返し、今の味にたどり着いたそうです。その親しみのある名前は、八木町内の小学校5校の児童みんなに試食してもらい、名前を募集したとのこと。

4月の大堰川さくら祭りや、10月のふれあいふくしまつり、11月

の水室の郷の収穫祭に作って販売されています。

「農村女性にこにこグループ」は、もともと野菜作りや堆肥作りを学ぶ機会に集まった八木町船枝の女性で平成元年に結成。家庭菜園でたくさん採れた野菜を設置販売する『無人販売所』を、いち早く取り入れて始められました。「当時ではまだめずらしく、設置されているところへ見に行ってみて手づくりの販売小屋を作りました」と話すのは、代表を務める竹上貞美さん。会員の高齢化などに



▲名物の八木っ子まん

より無人販売所は平成12年に閉鎖。昨年、「虹の会」とひとつになって、現在は八木町内の女性6人で水室の郷を拠点に活動されています。

最近では、「みず菜蒸しケーキ」も八木っ子まんに並ぶ人気で、手軽に家でも作ってもらえるとのこと。竹上さんは「八木の特産を工夫して使った料理が、これからは地域に伝わり、加工グループの輪も広がることを願っています」とこにこグループの笑顔で話していました。



▲手際よく、分担して作業が行われます。

各図書館の開館時間

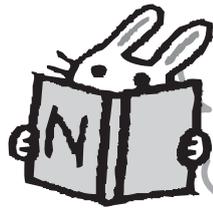
(休館日) 毎週月曜日・祝日

中央図書館：9時～17時

八木図書室：10時～18時・(日曜)10時～17時

日吉図書室：9時～18時・(土・日) 9時～17時

美山図書室：9時～17時・(金曜のみ)11時～18時



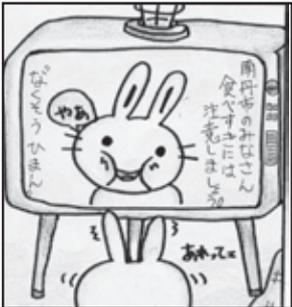
イメージキャラクター「なびっと」

図書館へようこそ!

No.12

なびっとの4こまマンガ

—なびっとBigニュース—



作：上條 綾さん

※この作品は、平成19年8月に募集した「なびっと4こまマンガ」の中から掲載しています。



▲絵本の読み語り

から2週間、館内業務や本の紹介などの研修を行いました。

園部第二小学校の図書館開放日には、研修生が絵本の読み語りと、テーマに沿っているいろいろな本を紹介するブックトークをしました。「箱」をテーマに、郵便ポストや弁当箱が登場し、子どもたちの興味を誘いながら楽しい交流ができました。

市立図書館では、学生が在学中に専攻と関係のある就業体験を行う「インターンシップ研修生」を平成15年から受け入れています。今年も、図書館司書を目指す佛教大学の吉田麻子さん、藤田知美さん、藤本彩乃さんの3人と、大学コンソーシアム京都からの受け入れで大谷大学の種村武さんが、8月1日



▲ブックトークで子どもたちと楽しく交流

司書を目指す大学生 夏休み期間中に大活躍!

南丹市立図書館に、今年も図書館司書を目指す大学生がやって来ました。お探しの図書などを案内するレファレンスサービス業務や、学校での本の紹介など大活躍しました。

新刊紹介



『空想科学読本6』

著…柳田 理科雄
発行…メディアファクトリー

人気シリーズの第6弾。コブクロの歌詞「ため息で錆び付いた」は起り得るのか? 漫画やアニメの描写が科学的に正しいかを検証してみる、楽しい科学本。



『犬やねこが消えた』

—戦争で命を奪われた動物たちの物語—
文…井上 こみち
絵…ミヤハラヨウコ
発行…学研

戦争では多くの犬やねこも犠牲になった。引き裂かれた人と動物の悲しみ。第二次世界大戦末期に本当にあった飼い犬や飼いねこの「供出」の話。

『齊藤孝の親子で読む偉人の話 1年生』
著：齊藤 孝
発行：ポプラ社

さくらももこ、エジソンなど、いろいろな人の生き方を知って大切なメッセージを親子で話そう! 小学1年生に向けた内容。学年別に4年生向けまで発行されています。

『宝物』をいただいた“アサガオ届け”

知 井小学校では、14年前から毎年、地域で70歳以上の方々に、アサガオを贈り続けています。今年も5月に種をまき、世話を続けてきた55鉢のアサガオ。夏休み前に、子どもたちが手紙を添えて届けました。

「アサガオ届け」に行く前、子どもたちは、独り暮らしの高齢者の方々をどのように想像していたでしょう。「独り暮らしで大変だろうな」「困っておられるだろうな」という思いがあったことでしょう。しかし、実際にそれぞれの自宅でも子どもたちが目にしたのは、自分が出れることを一杯しながら一生懸命に生活されている、高齢者の方々の姿でした。

3 人の6年生の男子が伺った、ある女性の方は、家の前の畑におられました。笑顔で迎えていただき、無事にアサガオを渡した後、周りを見回した子どもたちを驚かせたのは、その畑の広さと整然と作られている野菜の見事さです。これだけの広い畑を独りで世話をされていると聞き、子どもたちは感心のしきり。おそらく、離れて暮らすお子さんやお孫さんの

ために、汗を流しながら毎日世話を続けておられるのでしょうか。

子どもたちに人権感覚を身に付けさせるには、他の人の立場に立つてその人に必要な事やその人の考え、気持ちなどを分かつとする力を育てていく必要があります。その力は、言葉での説明だけではなく、実際に自分の目で確かめ、肌で感じる体験が重要です。

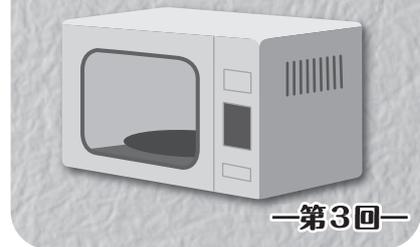
ア サガオを届けた子どもたちには、高齢者の方々とのおふれ合いで大切な「宝物」をいただいた帰って来ました。子どもたちがこれから育つていく上で、かけがえのないその宝物が、この夏、それぞれのお宅で花を咲かせたアサガオのように、派手さはなくとも、人の心を和ませながら一つ一つ花を咲かせていくことを願っています。

(知井小学校 教頭 清水浩次)



環・境・市・民

～環境にやさしい生活 始めましょう～



—第3回—

さあ始めよう!

家庭でできる温暖化対策

実行していただけますか?

〈台所でエコ〉

炊飯器などの保温を止める

炊飯器やポットの保温は利用時間が長いために、多くの電気を消費します。ご飯は電子レンジで温め直す方が電力の消費は少なくなります。

食品はなるべく

「旬」の物を利用する

露地栽培できゅうり

りを1kg作る場合、

CO₂ (二酸化炭素) 排出量は

274gですが、ハウス栽培

培の場合は、その約5倍の、

1、423gも排出します。



圧力鍋など省エネ型の調理器具を利用する

圧力鍋を使うと調理時間が短くてすみ、CO₂削減につながります。

ラップを使わず

ふた付き容器を使用する

電子レンジの加熱や冷蔵庫保存はラップを使わず、ふた付き容器を使用すると、洗って何度でも使えます。ラップを洗って使っても同じです。

〈環境家計簿でエコ〉

環境家計簿とは、家庭で使ったエネルギー量(電気・水道・ガス・ガソリンなど)を記録することで家庭から排出されたCO₂を把握できるものです。京都府のインターネット環境家計簿では、一般家庭の平均値と比較・評価ができます。

家庭でのエコな取り組みの目安となりますので、ぜひ利用してください。

URL

<http://www.kyoto216.com/kakeibo/>

(環境課)

国際協力機構（JICA）の日系社会青年ボランティアとして、南米のボリビアに派遣される吐山知志さん（園部町）が、6月16日南丹市長を表敬訪問されました。

吐山さんは、インドネシアの大学での日本語教師経験を生かし、ボリビアのラ・パス日本人会日本語普及学校で2年間、現地教師の育成指導や上級クラスの生徒への指導にあたられます。「ボリビアと日本の友好親善に貢献したい」との抱負を胸に赴任されました。



▲市長の激励を受け、握手を交わす吐山さん（左）

「ボリビアの日本語教育普及を支援 吐山知志さん、親善の架け橋に」

（6 / 16 日系社会青年ボランティア派遣）



美山町知井の美山山村留学センターで、1泊2日の「夏の体験留学」が実施されました。小学1年から4年生の8人の子どもたちが大阪府、滋賀県、京都市内から参加。初めて会った子ども同士、指導員やスタッフとも、わずか数時間でずっと一緒にいる仲間のように仲良くなりました。センター近くの清流での川遊びやスイカ割り、自分たちでトラップ（わな）を作って虫捕りや魚つかみ、野菜の収穫や飯ごう炊さんなど、自然あふれる山里で生き生きと元気いっぱい活動しました。

子どもたちは、全身で豊かな自然を感じ、2日間の思い出を胸に、夏色を増してそれぞれ住むまちへと帰っていきました。

当センターでは、夏と冬に体験留学生、そして1年間の長期留学生を受け入れられています。

「僕らの夏休み！山里での1泊2日」

（8 / 2 / 3 美山山村留学センター「夏の体験留学」）



▲河原でスイカ割り「ちゃうちゅう！こっち！」「どっち?!」

「手作りの紅白の玉 運動会で使ってたね」

（8 / 26 「ふれあい教室」 保育所に紅白玉寄贈）



◀「たくさん入って、おもしろい！」

南丹市生きがい活動支援通所事業として月に4回開催している園部北部コミュニティセンターの「ふれあい教室」では、元桐地域の高齢者12人が集い、軽い運動や絵手紙、陶芸などを通して楽しく交流されています。その活動の中で、社会貢献の一つとして地域の保育所の運動会で使う紅白の玉作りをしようと、6月下旬から始められました。できあがった100個の紅白の玉は、8月26日に教室参加者から園部保育所の園児たちへ手渡され、園児からはお礼に歌が贈られました。

お詫びと訂正 広報なんたん6・7月号の記事に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。
4～5ページ…
（誤）西胡麻地区消防協力隊⇒（正）西胡麻区消防協力隊



▲同年代の講師からゆっくり指導を受けます

おおむね60歳以上のシニア世代を対象に、7月5日から全4回にわたるパソコンの初心者講座が、財団法人南丹市園部国際学園都市センター主催で開講されました。本講座は、同年代のボランティア講師に、電源を入れるところからゆっくりと指導を受ける内容で、10人の定員枠に50人を超える応募がありました。抽選により決定された受講生は、一つ一つの操作を確かめながらパソコンに親しみました。今後、講座数を追加して開講される予定です。

7/5 シニア・パソコン講座

「シニアによるシニアのための講座」

診療放射線技師の育成を目指す学校法人島津学園京都医療科学大学で、公開講座「夏休み体験学習－医用画像はこんなに面白い」を開催。小学生を対象としたのは初めてで、市内の小学5、6年生11人とその保護者らが参加。パソコンを使って野菜や人体の断面図などを見た後、校内のX線CTやMRIなど体の中を映す医療用機器を見学しました。また超音波を使って、人体模型で一人ずつ臓器などを撮像しました。



▲一人ずつ超音波の撮像を体験しました

「興味津々！医用画像って面白い」

おもしろ

7/25 京都医療科学大学2008夏季公開講座

「気軽にスポーツ一緒に楽しもう」



▲「ビーチボール、当たっても痛くないよ」

南丹市体育指導委員会が中心となって昨年からの普及種目として取り組んでいる生涯スポーツ「ビーチボール」の教室が、市内の4地域で行われました。ボールが柔らかく、スピードも比較的遅いので小学生からシニア世代まで誰でも気軽に楽しめる、富山県朝日町で考案されたニュースポーツ。バドミントンのダブルスコートを使用し、1チーム4人で打ち合います。今後、9月20日には地区別、10月26日には市全体で初心者でも参加できる交流大会を予定。大会のお問い合わせは社会教育課まで。

8/9、30 南丹市ビーチボール教室

「安心で安全な、地元産へのこだわり」

道の駅「京都新光悦村」（園部町曾我谷）が、平成15年のオープン以来5周年を迎え、記念式典とイベントを開催されました。式典では、5年間の経過が報告されたほか、地元特産品の開発や販売充実に貢献されたとして、財団法人園部町農業公社の野中一二三理事長から、杉山輝男さん（丹波栗・園部町口司）と、あけぼの学園るりけい寮（いちご・園部町南八田）に感謝状が贈呈。来店者にお買い物券などが当たるお楽しみ抽選会や地元植生太鼓の演奏、とうがらしのつかみどりなど多彩なイベントで盛り上がりました。

7/19 道の駅「京都新光悦村」5周年記念式典



▲感謝状を授与される杉山輝男さん(右)

南丹そのべ七夕まつり（市商工会青年部主催）が開かれ、会場の園部町宮町シンボルロードは、露店や浴衣姿の子どもたち、家族連れで道いっぱい埋め尽くされました。

当日表彰が行われた創作七夕飾りコンクールでは、南丹市長賞一般の部に「美園町園寿会」、子供の部に「木崎町子供会」が受賞。沿道の七夕飾りには「ホームランが打てますように」「地球が平和に」などと夢や願いがあふれていました。また、京都伝統工芸大学校学生による竹灯ろうも並び、会場は七夕らしい雰囲気にも包まれました。



▲まつりを楽しむ人々でシンボルロードは埋め尽くされました

「夕暮れのひととき、星に願いを」

7/5 第27回南丹そのべ七夕まつり

「日吉ダムにぎわう子どもたちの歓声」

7/20 スプリングスフェスタ2008



▲夢中で金魚を追いかける子どもたち

日吉町観光協会主催の春のフェスタが、スプリングスひよし周辺で開かれ、里の市まつりや日吉ダム水上見学会、魚つかみ大会、花火大会など、市内外から多くの人でにぎわいました。

魚つかみ大会では、せせらぎ水路に放された約5,000匹の金魚を、子どもたちはびしょぬれになりながら捕まえました。猛暑日になったため、水温が高く金魚は夏バテ気味でしたが、訪れた参加者らは夜の花火大会までの多彩な催しを満喫しました。

盛夏を満喫



▲整然とした動きを披露する園部小学校鼓笛隊

そろいの衣装で足並み合わせ、整列をした園部小学校鼓笛隊が、午前10時から元気良く園部町内をパレード。南丹そのべ夏まつりオープニングを飾りました。市役所駐車場では、集まった多くの観客の前で鼓笛演奏や華麗な旗さばきを披露。園部高校吹奏楽部・園部吹奏楽団による演奏、そして中国から文化交流にいられた杭州市双芸舞踊団の少女たちによる中国舞踊も披露され、大きな拍手が送られました。午後には子ども映画の上映、そして午後6時からアルトサクソプレーヤー矢野沙織さんとジャズボーカリスト東がおるさんを迎えて「そのべ夏ジャズ」が夏の夜を華やかに演出しました。



▲ジャズ演奏と軽快なトークが心地よい一夜を演出

「華やかに音符でつないだそのべの夏」

8/15 2008 南丹そのべ夏まつり



▲湖面に、在りし日の集落のあかりがともりました

桂川流域の治水・利水対策として平成10年に建設された日吉ダム。その水をたたえる天若湖の下に水没した5集落（宮村、世木林、沢田、楽河、上世木）の生活文化があったことを忘れてはならないと、京都造形芸術大学の学生などが中心となって、かつて民家があった場所にあかりをともしました。地形や水位によって設営可能な4集落74戸分の太陽光充電式ライトを設置。夕暮れとともに湖面にあかりが浮かび上がり、静かにその記憶を照らしていました。

「^{あまわかこ}天若湖にともる、忘れじのあかり」

（8/9 天若湖アートプロジェクト2008・あかりがつなぐ記憶）

「音頭、手拍子、ヤットコシヨ」

八木町夏まつりが実行委員会主催で開催されました。昼間には、大堰川緑地公園の親水池での魚つかみ大会、夕暮れには市役所八木支所駐車場で踊り大会が盛大に行われました。

踊りの会場では、当て物やゲームの店が並び、およそ300人の子どもや家族連れで大にぎわい。よさこいの踊りが景気をつけ、音頭取りが節をまわし始めると、やぐらの周りに八木の里音頭や丹波音頭など踊りの輪ができました。



▲子どもからお年寄りまで一つの連になって踊りました

（8/10 八木町夏まつり）

「夏の美山で多彩なイベント堪能」

（8/15 第25回清流美山の鮎まつり）



▲竹内監督がつくもちつきに行列ができました

美山町自然文化村を会場に、美山の夏の風物詩「鮎」をテーマに祭りが開催されました。河原では、鮎とうなぎのつかみどりに、大人も子どもも大はしゃぎ。早速、会場で塩焼きにした鮎に舌鼓を打つ姿が見られました。また、同文化村施設を練習場として使用している社会人野球チーム「京都ファイアーバース」のメンバーも応援に駆け付け、竹内和也監督兼投手が季節外れのもちつきにきねをふるいました。熱気さめやらぬ夜には、灯ろう流しや花火大会が美山を彩りました。

「^{たくみ}匠の技に挑戦！工芸体験と鮎つかみ」

（8/2 夏休み1日子供チャレンジキャンパス）

夏休みを利用して、自然いっぱいの美山で、ものづくりと川遊びを体験する講座を、NPO法人「京都匠塾」・京都伝統工芸大学校・美山町自然文化村が共催で開催しました。

手びねりによる陶器作り、ゴムのスクリーンで水の上を走る木の舟作り、竹の虫かご作りなど、8月2日、4日、8日の3日間で63人が、指導を受けながら真剣な表情で工芸体験にチャレンジしました。

午後、自然文化村近くの美山川で鮎のつかみどりに挑戦し、ふるさとの夏の味覚も堪能しました。



▲匠の指導を受け、真剣な表情で竹の虫かご作り

なんたんミュージアム -10-

—南丹市立富本小学校—

※担任の先生、担当教科の先生の講評を掲載しています。

「これいいかんじ」
人見 茉夕貴さん（2年）



▶材料のスポンジをねじったり、まるめたり飾りも工夫して、かわい作品が仕上がりました。

「愛鳥ポスター」

人見 賢さん（5年）



▶鳥の特徴をよくとらえ、細かな所まで丁寧に描けました。色付けも工夫してできました。

「キラキラ光る絵『さんきら魚のおさしみ』」
人見 偲緒里さん（4年）



▲キラキラ光る素材を生かして、自分が表したいものをのびのびと表現し、楽しい作品に仕上がりました。

「書道『湖』」

宅間 雄平さん（6年）



▶文字の組み立てのバランスを工夫し、丁寧にのびのびと書くことができました。

編集後記

新・広報担当として、初の特集取材に東奔西走！現場でたくさんの笑顔や感情、誇りと出会いました。その一つ一つを見逃さないよう、カメラにそして心に収めたい…。でも、すでにパンク寸前！この先が思いやられますが、少しでも多くの方の心に留めていただける広報を目指して市内一円駆け回ります！
(A)



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ
森・里・街がきらめくふるさと 南丹市 なんたんし



●総人口：35,352人(+5)
(男：17,033人・女：18,319人)
(-6) (+11)
●世帯数：13,569世帯(+13)
(平成20年9月1日現在)
()内は前月比



わが家の★
アイドル

●園部町

ほそみ ゆうた
細見 優太くん（2歳1カ月）

「ますますやんちゃ大好き!! たくさんお話できるようになったね。弟にもいっぱい話してね」

(父・母より)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは情報推進課広報広聴係まで

広報
なんたん

編集・発行:南丹市役所 企画管理部情報推進課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0019 FAX:0771-63-0653
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail:jouhou-s@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。